講義概要　2021年後期「総合特別講義I（グローバルSDGsオンライン研修）（２単位）

本講義は、琉大世界展開力強化事業の太平洋島嶼地域特定課題研修の派遣プログラムを代替するものである。本学に在学する学生を対象に、本学と連携を結ぶ太平洋島嶼地域の教員およびゲストスピーカーによるCOIL（Collaborative Online International Learning）型手法を活用したオンライン学習や異文化交流を通して、太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーシップを育成することを目標とする。

講義はSDGs（Sustainable Development Goals）に関するテーマに沿った歴史、文化、地域課題等、特定のテーマについての英語による講義並びに海外の学生との異文化交流やゲストスピーカーシリーズを含み、太平洋島嶼地域に関連する共通課題について協働学習を通して、異文化理解、SDGs運用能力、そして個々のリーダーシップを培う。講義は英語で行われ（一部日本語の講義）、英語での講義や外国人学生との国際共修（ディスカッション、最終課題発表の質疑応答）が含まれるため、履修学生には英語での講義を理解しディスカッションできるように事前に課題に目を通しておくなど、主体的な参加が求められる。

講義は全てオンラインで実施される。受講学生のうち、オンライン学習の環境整備支援を必要とする者には、オンライン接続のために必要な情報端末の貸与を行う。

*COIL(Collaborative Online International Learning)：オンラインを活用した国際的な双方向の教育手法。

１　履修登録可能な人数

２０名程度（外国人聴講生を含む）

２　講義実施期間

本講義は、2021年10月1日（金）～1月28日（金）の2021年後期に行われる。

３　対象者

本学に在学している（休学等をしていない）正規学部学生１年次～４年次

４　履修科目及び単位付与

本講義に参加する学生は共通教育等科目・総合科目**「総合特別講義Ⅰ（グローバルSDGsオンライン研修）」（２単位）**を履修し、講義終了後、プログラム担当教員が評価し単位を付与する。

５　講義概要

Ⅰ　カリキュラム構成　１．５時間（９０分）を講義の１ユニット（２時間）とみなします。

II　講義スケジュール（1.５時間・１５回）

第１回：プログラムオリエンテーション、概要、BEVI 結果説明

第２回：SDGs ワークショップ「H.I.R.E. Love」、異文化交流会、George MacLean

第３回：SDGs課題地域に関する講義①“Orientation on the Pacific Island Region: Learning about Culture, History, Local Economics, Politics, Religious Beliefs, and People of the Pacific Island Region.” 石川隆士

第４回：SDGs課題地域に関する講義②“Sustainability in Hawai‘i,” Jay Hartwell (former Student Media Faculty Advisor, retired from the University of Hawai‘i at Mānoa)

第５回：SDGs課題地域に関する講義③“Equality and Inequality in the Asia-Pacific” Tasuki Kohatsu, (Department of Geography and Environment, University of Hawai‘i at Mānoa, Hawaii, USA）

第６回：SDGs課題地域に関する講義⑤“Collaboration of Science and Ethics in SDGs”（「熱帯林の破壊と持続可能な森林利用への取り組み」）、塩寺さとみ（南山大学）

第７回：課題解決に向けてのリーダーシップ①“Biodiversity and the Pacific Islands,” Jeff Kuwabara (Coordinator of the University of Hawai‘i’s Marine Option Program, Hawaii, USA）BlueSky

第８回：課題解決に向けてのリーダーシップ②“Thoughts and Theory on Global Leadership” 石川隆士

第９回：　最終課題の**中間成果発表**と各グループからのフィードバック、海外学生との異文化交流会

第１０回：課題解決に向けてのリーダーシップ③” Collaboration of Science and Ethics in SDGs”（「留学生との共修とProject Based Learning」）新城直樹

第１１回：課題解決に向けてのリーダーシップ④“Becoming an Agent of Change in Your Community”, Don Peel, (Ph.D. from University of Hawaii at Manoa, Canada) BlueSky

第１２回：SDGs課題地域に関する講義④“Leaving No One Behind: Role of Minority Languages In Achieving Equity”（「誰一人取り残さない平等性を達成するためのマイノリテ言語の役割：アイヌ語の事例」）白石英才（札幌学院大学）

第１３回：課題解決に向けてのリーダーシップ⑤“Enlightened Entrepreneurship”, Asuka Hamakawa (Earth Company co-founder in Bali, Indonesia) BlueSky

第１４回：最終課題発表に向けた協働学習、異文化交流会

第１５回：**最終課題発表**（グループプレゼンテーションと質疑応答）、研修全体のまとめと振り返り

BlueSky Guest Speakers（第７回、第１１回、第１３回予定）

GUEST SPEAKER PROFILES:

Dr. Don Peel (Alberta, Canada). Dr Peel has been a leader in the field of conservation in the Hawaiian Islands and across the globe since 2001. He has lectured widely on a diverse range of topics and has been published in numerous academic journals on topics such as leadership, sustainable development, education reform and international relations. Don has served as a lecturer at the University of Hawaii, been a guest lecturer at numerous universities, and served on the boards of numerous public and private organizations relating to SDGs. Don has a commitment to youth empowerment and the role that the next generation must play in facing our global challenges.

Aska Hamakawa (Bali, Indonesia). Ms Hamakawa is the co-founder of *Earth Company*, alongside her husband, Tomo. *Earth Company* focuses on inspiring and nurturing the next generation of change makers and social entrepreneurs shaping the future of developing nations. This passion permeates Aska's entire life, and she has committed herself to climate change and disaster relief in the Asia Pacific. She has received two BAs from the University of Boston, a Masters' degree with a focus on climate change in the Pacific Islands, as well as a marketing certificate from Cornell. In 2014 she was awarded the Dalai Lama's "Unsung Heroes of Compassion" award and was featured as one of Newsweek's "Women of the Future" in 2018.

Jeff Kuwabara (Hawaii, USA). Mr Kuwabara has served as the Lecturer and Coordinator of the University of Hawaii's Marine Option Program since 2005. Through this programme Jeff has taught classes on coral reef identification, categorization and monitoring, as well as providing logistical support to the Maritime Archaeology Surveying Techniques Field School. He also served as Discovery Centre manager at the Northwestern Hawaiian Islands Coral Reef Ecosystem Reserve, offering lectures for students from the University of Hawaii Hilo and managing a team of climate-passionate volunteers. Jeff is committed to educating the next generation on the importance of preserving our marine heritage for the future.

III 事前研修

（１）BEVI(Beliefs, Events, and Values Inventory- 異文化経験による内的変化を測定するもの）受検（１回目）

（２）自己紹介ビデオの作成とアップロード

＊BEVI の１回目を受けておくこと。

＊講義第２回目までに自己紹介ビデオを作成してアップロードすること。

IV 事後研修 （１回）

（１）講義アンケートと総括レポート（日本語でも良い、A41枚程度）を講義修了後提出。

（２）およびBEVIへの２回目（講義修了直後）と３回目（講義修了約２ヶ月後、こちらから連絡する）を各自で回答すること。

６ 各課題について

① 講義およびゲストレクチャーシリーズのサマリー（30%）

＊第３～１２回までの講義やリーダーシップ・ゲストスピーカーシリーズ後に、講義やゲストスピーカーの話した内容のサマリーを、英語で250～300words（または日本語で500字）程度でまとめ、Word文書をGoogle Driveにアップロードする機会がある。計１０回分を受講者の人数で割り当てることとする（各まとめ文あたり90分の自習時間を想定)。レポートは担当教員によって評価される。

② SDGsの課題特定、自己紹介ビデオ、異文化交流課題（20%）

事前研修第１回目に自己紹介ビデオを作成してFripgrid上にアップロードしてもらう。また、事前研修第２回目のGeorge MacLean先生のワークショップでSDGsの課題を特定するためのワークが課されるので、両方とも期日までに提出すること。異文化交流会（第２回、第９回、第１４回の計３回予定している）でもアクティビティがあるので、全員参加すること。

③ SDGs課題解決についてのグループ中間発表、最終課題発表、最終課題レポート（50%）

第１１回の最終課題発表に向けた中間発表では、グループ毎に最終プレゼン内容について中間成果を発表し、他のグループからのフィードバックを受けて最終発表までに改善する。

最終課題発表の内容について

本研修における最終課題発表の内容は、以下のリンクから確認のこと。

<https://bit.ly/2V63Y0a>

最終課題発表の内容の質疑応答を踏まえて、発表後、各グループで最終発表の内容と質疑応答に対する答えをさらに探求した内容を最終レポート（Word、2000字程度）にまとめて提出すること。**最終発表課題レポート提出を持って、最終課題に対する評価（全体の50%）とする。**レポートの中には、自分（たち）がどのようなリーダーシップを取ることが可能か、という点についても触れること。提出期限は**2022年2月10日（木）17:00**までとする。

７　履修条件

以下（１）～（８）の全ての条件を満たす者。

（１）英語での講義内容をある程度理解し、学生間で意思疎通をはかれる程度の語学力を必要とする。

（２）事前・事後学習を含め、全てのプログラムに参加できる者。

※事前学習を無届欠席した場合は、本研修への参加を認めないので留意すること。ただし、体調不良など相応の理由があり届出欠席した場合は、適宜、補講等を受講すること。

（３）学期終了時に最終レポート提出をもって単位認定を受ける意思のある者。

８　オンライン参加支援について

本プログラムのオンライン参加に関わる情報端末（wifi ルーターおよびタブレット等）について、学生からの希望があれば、プログラム実施期間中、琉球大学より参加学生に貸与することとする。

９　問合せ先

琉球大学グローバル教育支援機構　開発室　（共通教育棟１号館　教育支援課）

プログラムの履修登録、プログラム概要、各課題、および出欠については下記のものに連絡すること。

世話人：名護麻美（グローバル教育支援機構　特命講師）

anago@lab.u-ryukyu.ac.jp（内線：2030）